



KINOTAYO

プレスリリース
2024年9月12日 パリ

第18回KINOTAYO現代日本映画祭が 11月23日から12月14日まで開催決定！

フランス最大規模の現代日本映画祭が、豊富なプログラム、新しい取り組み、そして新たな上映会場と共に戻ってまいります。



18^e ÉDITION

現代日本映画祭

FESTIVAL DU CINÉMA JAPONAIS
CONTEMPORAIN EN FRANCE

KINOTAYO

23 Novembre au 14 Décembre 2024
À la Maison de la culture du Japon à Paris et au Musée Guimet
Décembre à Mars en Val-d'Oise et salles partenaires en France
www.kinotayo.fr



第18回KINOTAYO現代日本映画祭が、2024年11月23日から12月14日まで開催することが決定いたしました。毎年恒例の開会セレモニーは2024年11月23日(土)に、閉会セレモニーは12月14日(土)に、それぞれパリ日本文化会館にて行われます。KINOTAYO映画祭と長年提携している同会館では、今年も主要な会場として多くの上映会が開催されます。

パートナーシップの強化

今年はギメ東洋美術館との新たなパートナーシップの一環として、2024年10月31日に「Jホラー・デー」と題し日本ホラー映画の上映やイベントを開催し、12月1日から5日までフランス未公開映画の上映会を予定しております。

本映画祭はパリでの開催期間終了後、2025年初めにフランス国内の約15都市にあるパートナー会場にて引き続き開催されます。

本年度の開催プログラムの全容は11月上旬に公開予定です。オフィシャル・コンペティション作品選出に加え、様々な映画監督及び出演者ご出席の下、特別上映や本映画祭限定の回顧上映も予定しております。

KINOTAYO現代日本映画祭に関して

KINOTAYO映画祭は2006年に設立されたフランス初であり最大の現代日本映画祭です。設立当初から、フランスの観客に日本の「第7芸術＝映画」の豊かさに触れて頂くことを目指しており、日仏間の対話を促し、日本の現代文化・社会への理解を深めることを目的としています。

毎年、様々なメンバーにより構成された作品選考チームが独立した立場で、制作から18ヶ月未満かつフランス劇場未公開である約200作品の中から、約10本の様々なジャンルに富んだ長編作品を厳選します。オフィシャル・コンペティションでは、3つの賞が用意されており、観客投票により決定するKINOTAYO映画祭の最高賞である <ソレイユ・ドール>、映画のプロフェッショナル（ジャーナリスト、批評家、映画分野の教授等）で構成される審査員チームにより授与される<グランプリ>及び<審査員賞>があります。

選考には、コンペティション外の作品も含まれており、クラシック作品や本年度のテーマ及び回顧上映に関連する映画が揃います。

設立19年目を迎える本映画祭は、引き続き素晴らしい成長を遂げています！2023年度はパリでの総観客数が前年比50%増を記録し、フランス全土にておよそ100回の上映がされました。

連絡先

ヌシャ・サンマルタン (Nousha Saint-Martin) - 会長兼総括部長: ns.kinotayo@gmail.com
メリッサ・レイモン (Mélisha Reymond) - コミュニケーションマネージャー: mr.kinotayo@gmail.com

SNS等はこちらから

[ニュースレター](#) | [Facebook](#) | [Instagram](#) | [X](#) | [Linkedin](#)

メディア関係者の皆様へ: ジャーナリストやブロガーとして本イベントを取材したい方は、ぜひこちらからお申し込みください!